

自動喪失の国			非自動喪失の国									
			国籍放棄可能						国籍放棄不可能			
A	B		A	B		A	B		A	B		
アンドラ			アフガニスタン			グレナダ			ポルトガル		批准	アルゼンチン ※7
オーストリア ※1		批准	アルバニア		批准	ギニアビサウ			ルーマニア		批准	コスタリカ
バングラデシュ			アルジェリア			ガイアナ			ロシア			ドミニカ共和国
ブータン			アンゴラ			ハンガリー		批准	ルワンダ			エクアドル ※8
ボツワナ			アンティグア・バーブーダ			アイスランド		批准	セントキッツ・ネイビス			エリトリア
ブルネイ			アルメニア			イラン			セントルシア			ガテマラ
カメルーン			オーストラリア	批准		イラク			セントビンセント及びグレナダ			ハイチ
中央アフリカ共和国			アゼルバイジャン			アイルランド			サモア			ホンジュラス
中国			バハマ			イスラエル			サンマリノ			メキシコ
コンゴ民主共和国	批准		バーレーン			イタリア			サントメプリンシペ			モロッコ
コートジボアール			バルバドス			ジャマイカ			サウジアラビア			ニカラグア
キューバ			ベラルーシ			ヨルダン			セルビア			ニジェール
赤道ギニア			ベルギー	批准		ケニア			セイシェル			パナマ
エストニア			ベリーズ			キリバス	批准		シエラレオネ			カタール
エチオピア			ベニン			キルギスタン			シンガポール			トンガ
ドイツ ※2		批准	ボリビア			ラオス			スロベニア			チュニジア
ギニア			ボスニア・ヘルツェゴビナ		批准	ラトビア			ソロモン諸島			ウルグアイ
インド ※3	批准		ブラジル	批准		レバノン			ソマリア			バチカン
インドネシア			ブルガリア		批准	レソト	批准		南スーダン			イエメン
日本			ブルキナファソ			リヒテンシュタイン			スーダン			
カザフスタン			ブルンジ			ルクセンブルグ		批准	スワジランド	批准		
クエート			カンボジア			マケドニア		批准	スウェーデン	批准	批准	
リベリア	批准		カナダ		※6	マラウイ			スイス			
リビア			カボベルデ			マレーシア			シリア			
リトアニア			チャド			モルジブ			台湾			
マダガスカル			チリ			マリ			タジキスタン			
モーリタニア			コロンビア			マルタ	批准		東チモール			
モナコ	批准		コモロ			マーシャル諸島共和国			トーゴ			
ミャンマー	批准		コンゴ共和国			モーリシャス	批准		トルコ			
ネパール			クロアチア			ミクロネシア			トルクメニスタン			
オランダ ※4	批准	批准	キプロス	批准		モルドバ		批准	ツバル			
北朝鮮			チェコ共和国		批准	モンゴル			ウガンダ			
パキスタン	批准		デンマーク		批准	モンテネグロ		批准	ウクライナ		批准	
パプアニューギニア			ジブチ			モザンビーク			イギリス	批准		
セネガル			ドミニカ			ナミビア			米国			
スロバキア		批准	エジプト			ナウル			ウズベキスタン			
南アフリカ			エルサルバドル			ニュージーランド			バヌアツ			
韓国			フィジー	批准		ナイジェリア			ベネズエラ			
スペイン ※5			フィンランド		批准	ノルウェー	批准	批准	ベトナム			
スリランカ			フランス			オマーン			ザンビア			
スリナム			ガボン			パラオ			ジンバブエ	批准		
タンザニア			ガンビア			パラグアイ						
タイ			ジョージア			ペルー						
トリニダードトバゴ			ガーナ			フィリピン						
UAE			ギリシア			ポーランド	批准					

※1 オーストリア（事前の「国籍保持の承認」による例外規定があり、帰化する前に申請し、「国の利益」になるか、「私生活および家族生活において特に国籍を保持するに値する事由がある」と判断されれば、また、未成年者は子どもの最善の利益のために、他国に帰化しても、オーストリア国籍の保持を認めている。）  
 ※2 ドイツ（EU加盟国、スイス、国籍法12節による条約締結国の国籍取得の場合は、自動喪失しない。また、国外在住者が事前の許可を得て外国籍取得した場合に喪失しないですむ制度あり：失わないためのこの許可は、海外に永住しているドイツ国民がドイツとのつながりを維持することを示すことができる場合に限り与えられる。）  
 ※3 インド 他国の国籍を取得してインド国籍がなくなっても「海外インド市民権」「Overseas Citizenship of India (OCI)」を取得して在外インド国民とほぼ同様の恩恵を受けることができるほか、OCI保持者のインド国籍再取得の特例がある。  
 ※4 オランダ（例外：他の国籍の国で生まれた場合（他の国籍を取得する際には、その国に住んでいる必要がある）。他の国籍の国で18歳になる前に5年以上連続して居住したことがある場合。他の国籍の人と結婚している場合。）  
 ※5 スペイン（例外：イペロアメリカの国、インドラ、フィリピン、赤道ギニア、ポルトガルの国籍を取得しても、出生によるスペイン国籍を自動的に喪失しない。相手国と戦争になってもスペイン国籍は喪失しない。さらに、2003年からは、二重国籍者は、外国籍を取得した瞬間から3年以内にスペイン国籍を保持する旨の意思表示をすることで、スペイン国籍の喪失を回避できるようになった。また、市民登録所でスペイン国籍を申告することで、国籍の喪失を防ぐことができる。）  
 ※6 カナダ 国籍法抵触条約を1996年に脱退。 ※7 アルゼンチン（例外：アルゼンチンへの帰化者） ※8 エクアドル（例外：エクアドルへの帰化者）  
 ■ 原告代理人が、①Vink, Maarten; De Groot, Gerard-Rene; Luk, Ngo Chun, 2015, "MACIMIDE Global Expatriate Dual Citizenship Dataset", doi:10.7910/DVN/TTMZ08, Harvard Dataverse, V5 [2020]. ②<https://www.refworld.org/docid/3ae6b3b00.html> ③<https://www.coe.int/en/web/conventions/full-list?module=signatures-by-treaty&treaty=166> 及び菅原真『「『国籍唯一の原則』の再検討』——MACIMIDEの調査結果にみる重国籍容認国の国際的拡大——』2023年（甲216）を元に作成。

